



2学期がスタートしました。

猛暑が続いています。9/1(月)の始業式は、熱中症対策としてオンラインを活用。冷房の効いた各教室で、モニター画面越しで実施しました。生徒たちの反応が見えない状況での講話は、難しいものです……。そういうこともあって、今回の校長講話はいつもと違った趣向で、まずは「謎解き」からスタート。下のような問題を出しました(ヒントは一番下にあります)。その後、こんな話をしたところです。

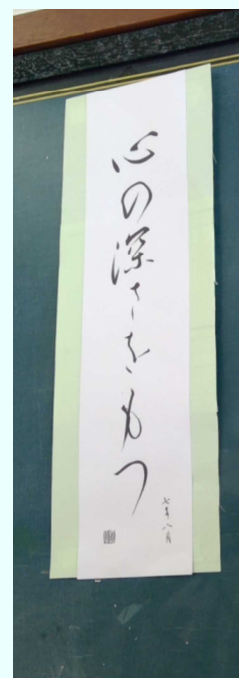


$$\frac{10}{26} + \frac{1}{26} + \frac{16}{26} + \frac{1}{26} + \frac{14}{26} = \text{日本}$$

$$\frac{21}{26} + \frac{19}{26} + \frac{1}{26} = ?$$

- 法則性を考え、答えを予測するためには知識だけでなく、論理的な思考力が必要。
- 答えが分からず人に聞く場合、逆に人に教える場合、いずれにも必要なのは、コミュニケーション能力である。
- 何よりも、楽しみながら問題に取り組むことが大切。

- 昨日、NHKの「知的探求フロンティア タモリ・山中伸弥の！?(びっくりはてな)」という番組を見た。テーマは「AIは人間の知能を超えるのか」というもので、「そもそも知能とは何か」ということが話題に。
- ある専門家は「**知能とは予測能力**である」と言っていた。これは、先ほどの「謎解き」とつながる。単なる知識ではなく、論理的な思考力が肝！
- また、別の専門家は「**知能とは体験**」だとも言っていた。
- 例えば、AIに「リンゴとは何か」と聞けば、りんごの歴史、栄養面や健康効果について詳しく説明してくれる。でも、食感、香、酸味と甘さが混じった美味しさを、**実体験に基づいて伝えることは、AIにはできない**。
- AIがさらに進化する時代に生きる君たちに必要なのは、「体験」的な学びだ。さらには、**豊かな感性を育むこと**だ。そのために、**単に体験して終わりとするのではなく、そこで思索を深めることが大切**なのではないか。



新生徒会役員のリーダーシップに期待。

始業式後には、生徒会役員任命式が行われました。新会長の宮田遼君(串木野中出身)を中心に、生徒会活動がさらに充実することを期待しています。

【問題のヒント】 日本=JAPAN 26の意味が分かれば……

串木野高校、頑張っています！(文責 立森)